

報恩謝徳

部長会報⑦



平成30年11月22日文責今村

次回の部長会は12月3日(月)

★11/19 部長会★

第三回テストが終わりました。冬期休業まで、約1ヶ月となります。今週から部活動が再開していますが、部長会を通して①部活動の開始・終了時間の徹底、②下校の仕方、の2つが出ました。①と②とも各部活動で意識していくということでした。

①は、より意識していくことで以前のせた「報5・短時間部活で成果を上げるために…」の**時間をつくり出すこと**に繋がっていくと思います。短い冬の部活時間で「時間を守る」よりも、冬でも時間を多くつくれるようにして、頑張ろう！と、その先を是非話してみましよう！②は、怪我に直結してきます。いくら部活動を頑張っても、怪我をしてしまってはどんな部活動でも活動やプレーに大きく影響しますね。すごい選手ほど、普段の生活を大事にし、いつでも同じパフォーマンスができるように心がけている！その考えの上で、下校で事故が起きないように最大の注意を払えるよう、下校の仕方を各部活動でも意識していきましょう。

★短い時間だからこそ、「挑戦」を…★

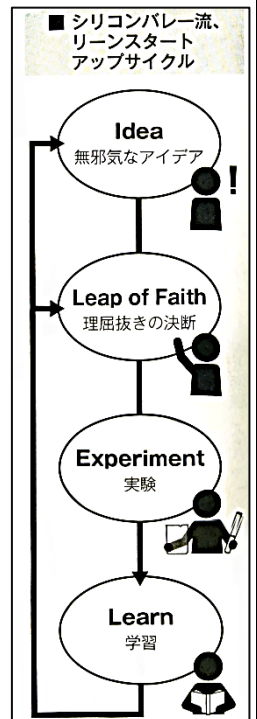
テスト前の週は、三者面談がありました。今週から本格的に部活動の時間が短くなりました。そこで、「**冬季の平日の部活動をどのように取り組んでいくか。**」を工夫して行ってほしいと思います。以前までで何校かを例に、その部活の考え方や取り組みを紹介してきました。ただ、できることは部活動で違ってくると思います。それも踏まえて、部長としていろいろな挑戦をどんどんしていきましょう！

そこで今日紹介したいのは、「**リスタートアップサイクル**」です。何か新しいことを挑戦する時、試して欲しいと思います。似たものとして「PDCAサイクル」(Plan[計画]→Do[行動]→Check[評価]→Action[改善])がよく紹介されますが、この「**リスタートアップサイクル**」は部活動で新しいことを挑戦するときに向いていると思います。

「リスタートアップサイクル」

アイデアを検討する前に、まずは試してそこから自分の中での経験を増やしていくスタイルです。「PDCAサイクル」と違い、Idea(無邪気なアイデア)の時点で、そのアイデアの欠点(理屈)などは考えず、まずは挑戦(理屈抜き**の決断→実験**)してみることが大切。それが失敗しても、**実際にどこどこで失敗したという経験(学習)**が残ります。これを繰り返していくことで、取り組みがよりよくなっていくそうです。このサイクルの利点は、**スピードが早いこと**。私たちは**新しいことに挑戦するとき、必要以上に情報を集めすぎて自分の挑戦にブレーキをかけてしまう**そうです。無邪気にでたアイデアをとりあえず挑戦することで、知識よりも実際に経験した学習から多くつかむことができ、どんどん変化することができます！

私から大事にして欲しいことは、**上手いできないことを恐れないこと**。今だからこそ、**より多くの「上手いできない！」**を積み重ねて、自分たちの部活動を**一歩ずつつづけて**行ってほしいと思います。



「強いチームをつくる！リーダーの心得」

明日香出版社

著 伊庭正康

色々な部活動が休日は活躍！

・卓球部 葛北新人大会 女子 準優勝 男子 準優勝

・レスリング部 千葉県新人大会 男子団体優勝

個人戦でも卓球部やレスリング部、陸上部(野田市民陸上競技大会)、柔道部(柏市民大会)が頑張りました！

今週末も各部活動で大会があります…

レスリング部、全国選抜大会！

ソフトテニス部、野田市オープンテニス大会！